

令和4年度 第4回下野市教育委員会定例会議事録

日 時 令和4年7月19日（火）午後1時30分～午後5時10分

会 場 下野市役所3階 303・304会議室

出席委員 教 育 長 石崎 雅也 職務代理者 永山 伸一
委 員 熊田 裕子 委 員 石嶋 和夫
委 員 佐間田 香

出席職員 教育次長 近藤 善昭
教育総務課長 上野 和芳
学校教育課長 石島 直
生涯学習文化課長 浅香 浩幸
文化財課長 山口 耕一
スポーツ振興課長 若林 毅
教育総務課課長補佐 神田 晃
学校教育課主幹兼指導主事 土田 礼巳
教育総務課主事 慶留間 遥

公開・非公開の別 公開（一部非公開）

傍 聴 者 0 人

報道機関 0 人

議事録（概要）作成年月日 令和4年8月18日

議 事

議案第20号 令和5年度使用教科用図書の採択について

協議事項

（1）下野市民生委員推薦会推薦委員の選出について

報告事項

（1）令和4年第2回市議会定例会の報告について

（2）教育委員会後援等の承認について

（3）とちぎっ子学習状況調査結果（速報）の報告について

（4）グリムの森遊具等設置工事（設計・施工）に係る指名型プロポーザルの結果について

その他

- (1) 下野市学校適正配置推進協議会の実施について
- (2) 第15回下野市教育のつどい 記念コンサートの実施について
- (3) 石橋公民館思い出写真展
- (4) 石橋複合施設工事現場見学会のお知らせ、開館までのスケジュール
- (5) 文化協会ハンドベルコンサート
- (6) 国分寺図書館「くら寿司出張講座」
- (7) グリム夏休みイベント

1. 開会
2. 教育長挨拶及び報告

(石崎教育長)

6月21日から本日7月19日までの職務について報告する。

- ・ 6月22日、藤沢修一氏が教育長表敬訪問をされた。県子連の「子ども会活動功労者表彰」を受賞されたことによる表敬訪問であった。子ども会関係活動年数は31年間とのことであった。
- ・ 6月23日、教職員評価制度に係る管理職当初面談第3日目を実施し、教頭8名との面談を行った。
- ・ 6月24日、令和4年度第2回市議会定例会が閉会した。本年度一般会計補正予算など2議案を原案どおり可決した。また、議員発議による市議会活性化特別委員会の設置を可決した。最後に広瀬市長の閉会の挨拶が行われ、市長在任の4期16年を振り返り、10分を超える演説が行われた。
- ・ 6月26日、しもつけウインドオーケストラ2022が国分寺公民館大ホールにて開催された。しもつけ・おやまジュニアオーケストラとの共演もあった。
- ・ 6月27日、市行政改革推進本部会議が開催された。
- ・ 同日、地方創生推進本部会議が開催された。
- ・ 同日、国分寺小学校において、教育委員の学校訪問を実施した。
- ・ 6月28日、市教育委員会職員による立哨・巡回指導を実施した。
- ・ 同日、第1回市スポーツ推進審議会が開催された。8人の委員の中から、市スポーツ協会長の吉澤賢一氏が会長に選任された。今年度のスポーツ振興事業や年間行事予定等が議題であった。
- ・ 6月29日、第3回市定例校長会議を開催した。「下野市こども未来プロジェクト第1回生徒交流会活動報告と今後の活動予定について」「『下野市いじめ防止強調月間』の取組について」などの説明を行った。また、県教育委員会発出の通知についての伝達を行った。
- ・ 同日、中学生平和研修派遣者の選考委員会が開催された。参加申込書に記入された「参加志望の動機」等の内容を基に、各校男女1名ずつ、計8名を選出した。
- ・ 6月30日、第2回公民館運営審議会が開催された。昨年度の「公民館評価」並びに石橋複合施設の「利用料金(案)」等が議題であった。
- ・ 同日、英語でコミュニケーションDAYを石橋中学校2年生の各クラスを対象に行った。昼休みにアトリウムで行ったALTとの交流には、他学年からも多くの生徒たちが集

まるなど、大変盛り上がった。

- ・ 7月1日、第1回社会教育委員会議が開催された。委員長には五月女洪氏、副委員長には花澤公久氏が選出された。「社会教育委員の職務について」「社会教育関係団体への補助金の交付について」等が議題であった。
- ・ 同日、岐阜県本巣市歓迎会が行われた。同市の市長、市議会正副議長、教育長など8名が訪問された。出席者による歓談の後、天平の丘公園、道の駅しもつけ等を視察された。
- ・ 7月2日、社会を明るくする運動メッセージ伝達式並びに講演会が開催された。南河内公民館で開催され、岸田内閣総理大臣のメッセージを市推進委員会委員長の広瀬市長が受け取った。社会活動家、認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長の湯浅誠氏が、「こども食堂と私たちの地域・社会」と題した講演を行った。
- ・ 7月4日、市教職員協議会長面会を行った。今年度会長の秋山実石橋中学校教諭が、事務局長の大橋崇人同校教諭と共に来庁した。
- ・ 同日、第4回下都賀地区教育長部会が開催された。「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」「定年延長に係る制度」「令和4年度定期異動の成果と課題」等について研修を行った。また、県教育委員会発出の通知の取扱いについて意見交換を行った。
- ・ 7月5日、国分寺小学校の3年生児童約100名がふくべ細工体験活動を行った。下野かんぴょう・ふくべ振興の会の会員数名が指導に当たった。小学生たちは、かんぴょうを3分の1から4分の1にした材料に、絵具等で色を塗ったり、絵を描いたりした。
- ・ 同日、国分寺学校給食センターを訪問した。最近の給食食材高騰について情報を寄せてもらった。
- ・ 同日、第3回庁議が開催された。報告事項として「令和5年4月採用職員採用試験の募集開始について」が挙げられた。また、中学生議会への対応について、答弁書作成担当課等を決定した。
- ・ 同日、市外国語研修（学校会場研修）授業研究会が行われた。国分寺中学校を会場として、研究授業は、授業者を加藤修司同校教諭にお願いし、2年4組の教室で13時半から行われた。指導助言及び講話は、「思考力・判断力・表現力等を育てる指導の工夫」と題して、国立教育政策研究所教育課程調査官の清水友晶氏が行った。
- ・ 7月6日、教育委員会部内会議を開催した。
- ・ 7月7日から8日まで、下都賀地区教育委員会連合会学事

視察が開催され、新潟県の長岡市教育委員会を訪問した。

- ・ 7月11日、第2回下野市立小中学校教科用図書選定委員会を開催し、最後に永山委員長から答申を受けた。
- ・ 7月12日、栃木SC下野市民デープレミアムシート抽選会が行われ、17組34名の応募者のうち、5組10名が当選した。なお、試合は、7月23日19時キックオフの予定である。
- ・ 同日、鈴木健一氏が市長表敬訪問をされた。令和4年春の叙勲 瑞宝小綬章（教育）を受けられた。
- ・ 同日、第1回市生涯学習推進協議会が開催された。生涯学習推進本部長である広瀬市長が挨拶を行った。会長に学識経験者の鈴木健一氏、副会長に男女共同参画推進委員会代表の楡木久美子氏が選出された。
- ・ 同日、久喜市視察団の南河内小中学校訪問が行われた。「鷲宮西中学校区における義務教育学校設立準備委員会」委員の皆様、並びに市教育長をはじめとする市教職員が視察に見えた。
- ・ 同日、令和5年度教職員人事に関する懇談を実施した。竹田下都賀教育事務所長が来庁し、来年度並びに今後の教職員人事に関する情報交換を行った。
- ・ 7月13日、石橋ロータリークラブが来庁した。以前実施していた「優良中学生表彰」を復活させたいという相談、依頼で来庁した。なお、今月から「下野、上三川ロータリークラブ」になったとのことであった。
- ・ 7月14日、社会を明るくする運動街頭普及啓発活動が行われた。市内4か所で市の事務職員を除く29名で行い、私は国分寺地区「スーパーオータニ」で行った。
- ・ 7月15日、ふくべ細工体験活動が行われ、国分寺中学校の美術部員が、ランプシェード作りを行った。運動部活動の地区大会が行われていたため、平日の8時半からの活動が可能であった。
- ・ 同日、市ソフトボール協会大橋四郎会長、梅山博行氏が市長表敬訪問をされた。梅山氏が、県ソフトボール協会永年功労者表彰を受賞したための表敬訪問であった。
- ・ 7月18日、下野市B&G海洋センター10年連続「特A評価」表彰式並びに、B&G下野国分寺海洋クラブ舟艇器材配備式が行われた。
- ・ 7月19日、英語でコミュニケーションDAYが祇園小学校2、5、6年生を対象に実施された。

以上の報告内容について、質疑等はあるか。

(熊田委員)

しもつけウインドオーケストラ2022については、私もイ

- インターネット配信で視聴した。久しぶりに生の音楽に触れ、コロナ禍の中ではあるが、こういった取組みはやはり良いと感じた。
- (石崎教育長) 少しずつでもこういった機会があると良いと私も感じている。他に質疑等はあるか。
- (石嶋委員) 「石橋ロータリークラブ」が、「下野、上三川ロータリークラブ」になったとのことだが、これは会員の減少によるものなのか。
- (石崎教育長) 詳細な理由については聞いていないが、恐らくそれも一因ではないかと思われる。他に質疑等はあるか。
- (佐間田委員) 給食センターについてである。子どもが国分寺中学校に通っているのだが、土曜日の体育祭の日にも給食を提供するという連絡が入った。これは特別な対応なのか。費用の問題は大丈夫なのか。また、学校から申請があれば、給食センターは休日でも給食の提供を行うのか。
- (石崎教育長) 特別な対応というよりも、給食を提供する日数の年間合計を見て判断をしている。また、体育祭の日の給食は簡易給食に近いものになる。体育祭自体は午前中に終了するが、片付けが午後に残っているので、簡易的に給食を実施し、片付け終了後はすぐに生徒を帰宅させる予定である。通常の給食よりも費用は抑えられるため、通常の給食に費用面での影響はないと考えている。他に質疑等はあるか。(特になし)

3. 議事録署名人の選任 熊田委員及び石嶋委員を指名

4. 前回議事録の承認

- (石崎教育長) 前回議事録について、事務局より説明を求める。
- (神田教育総務課課長補佐) 令和4年度第3回教育委員会定例会の議事録について、修正箇所の説明を行う。
- (石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)
議事録はこのとおり承認とする。

5. 議事

- (石崎教育長) 議案第20号 令和5年度使用教科用図書の採択についてについて、説明を求める。
- (石島学校教育課長) 令和5年度使用教科用図書の採択について、担当の指導主事から説明する。
- (土田指導主事) 第2回選定委員会で行われた内容、選定結果について報告する。今年度は、令和5年度に使用する特別支援学級用教科用図書について調査研究並びに選定を行った。
まず、調査研究を行うにあたり、これまで採択してきた図書について令和5年度の供給が可能であるか出版社に確認を取った

ところ、小学校5冊、中学校5冊の図書が供給できないことが分かった。そのため、これらの図書については今年度の調査研究の対象から除いている。

続いて、令和5年度使用図書として新しく選定した図書について説明する。はじめに小学校特別支援学級用教科用図書について報告する。

【小学校特別支援学級用教科用図書】

○生活「かばくん・くらしのえほん3

かばくんの はる なつ あき ふゆ」(あかね書房)

- ・身の回りの様子や季節の行事が柔らかいタッチのイラストと簡単な文章で紹介されている。1つの季節が8ページ分をかけて紹介されており、イメージが広がりやすく、語彙を増やすことが期待でき、また、本書を基に理解したことを日常生活の中で見つけたり、体験したりすることで、生活に役立てることが期待できることなど調査員から挙げられた。

続いて、中学校特別支援学級教科用図書について説明する。削除を検討したのは社会と理科で1冊ずつである。旺文社「描いて覚える中学歴史」については、歴史上の人物が顔写真ではなく抽象的なキャラクターで描かれており、生徒がイメージしにくいこと、また、情報量が多すぎるために生徒が見づらさを感じるなどが挙げられた。みくに出版「目で見える理科資料集 小学校低学年用」については、扱われている内容が古く、必要な内容はこれまで採択されている図書で十分に説明できることが理由として挙げられた。

続いて、新たに選定された図書について説明を行う。

【中学校特別支援学級用教科用図書】

○国語「中学国語をひとつひとつわかりやすく。改訂版」

(学研)

○社会「中学地理をひとつひとつわかりやすく。改訂版」

(学研)

○数学「中1 数学をひとつひとつわかりやすく。改訂版」

(学研)

○理科「中1 理科をひとつひとつわかりやすく。改訂版」

(学研)

○英語「中1 英語をひとつひとつわかりやすく。改訂版」

(学研)

- ・5教科に渡って選定された、学研「ひとつひとつわかりやす

く。」シリーズについて説明する。今回、近年増加している自閉症・情緒学級の生徒の使用も想定し、受検で必要とされる国語、社会、数学、理科、英語の5教科で同一シリーズを選定することを検討した。片方のページに要点がまとめられ、もう片方のページに問題が用意されており、同じパターンでまとめられた図書を使用することで、生徒の安心感につながることを理由として挙げられた。

○国語「言葉と文法にぐーんと強くなる 小学1年生」
(くもん出版)

○国語「言葉と文法にぐーんと強くなる 小学2年生」
(くもん出版)

・構成が学習内容ごとに細かく分けられており、効果的に学習が進められ、解答欄も見やすい配列になっていることが選定の理由である。

○書写「朝のペン字練習帖」(ナツメ社)

・基本から学習できること、見開きで学習しやすい構成などの工夫が理由である。

○技術「やさいの うえかた そだてかた」(岩崎書店)

・身近な野菜が多く紹介されており、その生育過程が具体的に説明されていること、技術の学習のほか、理科、家庭科、作業、生活単元、総合的な学習の時間など、他教科等とも関連させて教科横断的に活用できることが理由として挙げられた。

協議では、どの図書も特別支援学級に在籍する児童生徒の特性を踏まえて調査されていること、よく配慮して選定されているという意見が出された。

(石崎教育長) それでは、委員の皆様から質問等はあるか。

(熊田委員) 以前、下野市教育研究所にて小中学校特別支援学級用教科用図書を見せてもらったが、その時よりも数が減っているように思う。これは途中で選別がされたということなのか。

(土田指導主事) 県の調査研究を受け、教科用図書として挙げられた本も、今回教育研究所に置いていた。それらの本を更に下野市教科書選定委員会にて調査研究をした上で、選定したい教科用図書として本日挙げている。

(石崎教育長) 他に質疑等はあるか。

(熊田委員) 削除を検討した二冊の教科用図書についてであるが、先ほど削除理由の説明を受け、確かに削除が妥当であると感じた。教科書選定委員会では他に何か意見は出たのか。

(土田指導主事) 社会の教科書については、歴史上の人物を抽象的なキャラクターとして描くのはアイデアとして面白く、子どもたちにとって馴染みやすいものになると考え、当時は採択したものと思

われるというような意見が挙がった。しかし、市内でこちらの教科用図書を使用している中学校はない。また、実際に中学校歴史を学習するのは、自閉症・情緒学級所属の生徒が多く、はっきりした顔写真ではなく、抽象的なキャラクターとして歴史上の人物が掲載されていることにより、かえって混乱を招いてしまうのではないかという意見も挙がった。

(石崎教育長) 他に質問等はあるか。(特になし)

それでは、「小中学校特別支援学級用教科用図書」報告を受けて、委員の皆様から意見等はあるか。

(石嶋委員) 調査委員は、具体的に自分が担当している子どもたちの姿をイメージしながら調査研究し、選定にあたったと思われる。現場で実際に子どもたちと接し、子どもたちに即した教科書として調査研究を深め、選定したものであると思うので、私はこの結果を尊重したいと考える。

(熊田委員) 「かばくん・くらしのえほん3 かばくのはる なつ あき ふゆ」や、「やさいの うえかた そだてかた」については、優しい気持ちになるような柔らかい色づかいで絵が描かれており、子どもたちの気持ちも落ち着くのではないかと感じた。特に「やさいの うえかた そだてかた」については、写真が多く掲載されているようにタイトルからは感じるが、写真ではなく、描いた方の野菜への愛が感じられるようなイラストで、野菜の栽培方法などが紹介されている。とても良い本であると感じた。

(永山委員) 教科書選定委員会において調査員から説明があったが、今回は、自閉症・情緒学級の子どもたちに配慮した選定になっているとのことである。例えば、片方のページに説明があり、もう片方のページでそれに関する練習問題を解くというような形が、どの教科でも共通していることによって、子どもたちにとって不測の事態が起らず、安心感を持って学習を進めることができるのである。そういった部分まで配慮し、研究を進めたのだなと感じている。

(佐間田委員) 「やさいの うえかた そだてかた」については、食育にも用いることができるのではないかと感じた。どの本もよく検討され、良い本であると感じる。

(石崎教育長) 石嶋委員が述べたように、先生方は日々子どもたちに寄り添い、どんな教材なら使いやすいか、どんな本が子どもたちに即しているかということを知っているかと思う。そんな先生方の意見を尊重したいと考える。

他に意見等はあるか。(特になし)

それでは、これより採決に移る。採決の内容については非公

開となるため、教育長と教育委員は別室に移動する。
(教育長・教育委員が一旦退出する。)

【採決、非公開】

(ここで会議の非公開を解く。)

(石崎教育長)

議案第20号 令和5年度使用教科用図書の採択については、
本日上程された原案のとおり、採択したことを報告する。

・令和5年度使用小学校特別支援学級用教科用図書の新規採択一覧

科目	書名	発行者名
国語	かばくん・くらしのえほん3 かばくんの はる なつ あき ふゆ	あかね書房

・令和5年度使用中学校特別支援学級用教科用図書の新規採択一覧

科目	書名	発行者名
国語	言葉と文法にぐーんと強くなる 小学1年生	くもん出版
国語	言葉と文法にぐーんと強くなる 小学2年生	くもん出版
国語	中学国語をひとつひとつわかりやすく。 改訂版	学研
書写	朝のペン字 練習帖	主婦の友社
社会	中学地理をひとつひとつわかりやすく。 改訂版	学研
数学	中1 数学をひとつひとつわかりやすく。 改訂版	学研
理科	中1 理科をひとつひとつわかりやすく。 改訂版	学研

技術	やさいの うえかた そだてかた	岩崎書店
英語	中1 英語をひとつひとつわかりやすく。 改訂版	学研

また、「描いて覚える中学歴史（旺文社）」「目で見える理科資料集 小学校低学年用（みくに出版）」は、選定一覧より削除した。
以上で、議案第20号を終了とする。

6. 協議事項

(石崎教育長)

ここでお諮りする。協議事項を1件追加してよろしいか。（全委員承認）

それでは（1）下野市民生委員推薦会推薦委員の選出について、説明を求める。

(上野教育総務課長)

民生委員の推薦については、規則に基づき候補者を決定している。令和4年7月24日で委員の任期2年が満了となることから、委員1名を推薦するよう依頼があったため、推薦をお願いするものである。なお、現在は永山委員に推薦委員をお願いしている。また、8月以降の推薦会の開催は、決まり次第通知されるとのことである。

(石崎教育長)

永山委員をお願いしてよろしいか。

(永山委員)

了承した。

(石崎教育長)

委員の皆様よろしいか。（全委員承認）

下野市民生委員推薦会推薦委員に永山委員を教育委員会から推薦することで決定した。

続いて、報告事項に移る。

7. 報告事項

(石崎教育長)

（1）令和4年第2回市議会定例会の報告について、教育次長から説明する。

(近藤教育次長)

令和4年第2回市議会定例会の日程、教育委員会関連議案、教育委員会関連一般質問について報告する。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。（特になし）

続いて（2）教育委員会後援等の承認について、説明を求める。

(上野教育総務課長)

7月現在、1件の後援及び教育長賞、2件の後援を承認した旨報告する。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。（特になし）

ここでお諮りする。報告（3）については、個人情報に関する

案件なので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」の規定により、非公開として進めたいと思うが、よろしいか。(全委員異議なし)

それでは、報告(3)は、非公開として進める。

(3)とちぎっ子学習状況調査結果(速報)の報告について、説明を求める。

以下、非公開

(石崎教育長)

ここで非公開を解く。

続いて(4)グリムの森遊具等設置工事(設計・施工)に係る指名型プロポーザルの結果について、説明を求める。

(浅香生涯学習文化課長)

グリムの森に設置していた遊具の老朽化が進んでいたため、大型公園遊具を更新することとした。遊具更新に係る指名型プロポーザルの結果、事業者が決定したため報告する。

グリムの森に、長い滑り台と木製遊具が設置されているが、木製であるため、腐食や老朽化が進み、現在は使用不可になっている。しかし、都市公園の整備計画の中で順次遊具を更新していくということになっており、グリムの森においても、ちょうど更新時期となっていたため、今年度新たな遊具を設置することとした。その選定に当たっては、指名型プロポーザルの方式をとっている。

続いて、工事概要について説明する。今回、単に遊具を設置するだけでなく、遊具設計と設置、看板の設置、整地工事、既存遊具の撤去処分について一体的に実施することとした。4社が参加し、提出書類及びプレゼンテーションの内容を審査した結果、事業者が決定した。

工事については、グリムの森のイルミネーションの時期に重ならないように実施する予定である。なお、今年度のグリムの森のイルミネーションは、11月27日にオープンする予定である。

参考として、児童用と幼児用、2種類の遊具のパスを掲載した。グリムの城をイメージしたものになっており、グリムの森にも溶け込むような配色、デザインとなっている。児童用複合遊具は比較的難易度が高く、高学年向けの作りになっている。児童用複合遊具については、現在長い滑り台が設置してある場所に設置され、幼児用複合遊具については、現在木製遊具が置かれている場所に設置される予定である。この他に築山の設置やエコベンチの設置についての提案もあったため、こちらも契約の中に盛り込むこととした。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

- (佐間田委員) 現在設置されている遊具は全て撤去され、新しいものに更新となるのか。
- (浅香生涯学習文化課長) 長い滑り台と木製遊具以外にも、グリムの森には遊具が設置されているが、今回の更新では撤去せず、そのまま使用できるようにしておく予定である。
- (佐間田委員) ターザンロープの遊具等も残るのか。
- (浅香生涯学習文化課長) ターザンロープの遊具は、老朽化により既に撤去済みである。回転遊具については、そのまま残しておく。今回撤去する長い滑り台は、老朽化が進み滑れないような状態であり、使用禁止となっていた。また、木製遊具についても、木が腐食してしまったため、テープを巻き、入れないようにしてあるのが現状である。
- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。
- (石嶋委員) 新しい遊具は、やはり木製ではなく金属製なのか。
- (浅香生涯学習文化課長) FRP（繊維強化プラスチック）やポリカーボネート、ステンレスなどの耐久性の高い素材で作られている。
- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。
- (熊田委員) 回転遊具等は残るということであったが、今回設置されるような新しい遊具が入ると、以前からあった遊具は古びているように見られてしまうのではないかと心配に思っている。新しい遊具を導入すると同時に、元からあった遊具にペンキを塗り直したりはしないのか。
- (浅香生涯学習文化課長) 今のところ、ペンキ塗り等の実施予定はない。現在残すことを決定している遊具は、全て人気が高いものになっており、そのままの形を残していきたいと考えている。ペンキ塗りなどは、メンテナンスの面で必要になるものであるので、計画に則って実施していきたい。
- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。
- (佐間田委員) 今までグリムの森に置かれていた遊具は、他の公園にはない、独自性のあるものであり、それを目的に遊びに来る子どもたちも多かったのではないかと思う。今回の遊具のように、どの公園にでもあるような複合遊具の設置では、魅力が減衰してしまうのではないかと心配である。
- (浅香生涯学習文化課長) プロポーザルを実施するにあたり、参加業者も他の公園に新規設置された遊具を視察している。今回グリムの森に設置する複合遊具は、市内各公園に設置されている複合遊具よりも難易度が高いものであり、子どもたちのチャレンジ精神を刺激し、リピート率を高めることができるとのことである。
- (佐間田委員) そういった魅力を強く押し出してほしい。
- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。（特になし）
続いて、その他の連絡事項に移る。

8. その他

(石崎教育長) (1) 下野市学校適正配置推進協議会の実施について、説明を求めらる。

(上野教育総務課長) 下野市学校適正配置推進協議会の実施について説明する。前回の定例会で委員の選任の了解をいただいたところである。協議会の第1回会議を7月27日に下野市役所で開催する。協議会は全4回、その間に保護者・地域説明会を2回行う予定としている。協議事項は「前回検証に関する提言書について」「細谷地区及び細谷小学校の現状について」「細谷小学校の小規模特認校制度の検証について」等である。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)

続いて(2)第15回下野市教育のつどい 記念コンサートの実施について、説明を求めらる。

(上野教育総務課長) 永山委員紹介の音楽家 大森史子さんに、コンサートについて快く引き受けてもらった。略歴や活動実績は配布資料のとおりである。今回の教育のつどいでは、ピアノ伴奏による音楽コンサートを開催することができることとなった。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。

(永山委員) ピアノがアップライトピアノ1台のみの配置ということであったが、ピアノの位置やアップライトピアノで問題ないか等、既に打ち合わせ済みなのか。

(上野教育総務課長) 不都合が起これないよう調整済みである。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)

続いて(3)石橋公民館思い出写真展について、説明を求めらる。

(浅香生涯学習文化課長) 石橋公民館のメモリアル事業のお知らせである。新たに石橋複合施設を建設中のため、今ある石橋公民館については間もなくその役目を終えることとなる。そのため、現在の石橋公民館の利用者を中心に実行委員会を組織し、今の公民館のメモリアル事業、そして、新しくできる公民館のオープニングセレモニーを実行委員会形式で実施しようと、現在進めているところである。それを改めて整理し、今回報告する。

石橋公民館のメモリアル事業として「記念誌(アルバム)作成」「記念DVD作成」「思い出の写真展の開催」「記念講座の実施(10月14日)」「メモリアルフェスタの実施(10月16日)」の5つの事業を実施しようと考えている。現在、実行委員が様々な準備を進めているところである。なお、10月16日のメモリアルフェスタは、今の石橋公民館の利用者だけで実施しようということで、今のところは幅広く周知はしていない。

また、「石橋公民館とこの町の思い出写真展」は、既に石橋公民館で実施している。近隣住民や、これまで公民館を利用してい

た方々が所蔵していた昔の懐かしい写真を収集し、その写真にまつわる思い出のエピソードなども一言添えてもらった。近くまで立ち寄った際には是非見てほしい。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(4)石橋複合施設工事現場見学会のお知らせ、開館までのスケジュールについて、説明を求める。

(浅香生涯学習文化課長)

現場見学会の関係については、6月の教育委員会定例会でも案内した内容になるため、割愛する。7月24日の9時30分から正午までの午前中、見学会を開いているため、是非来てほしい。配布したチラシには、現在の完成予想図を記載している。また、内装のイメージパースについても出来上がってきたため、持参した。まだ具体的にクロスバイト化しているわけではないので、7月24日にはまだこのような状況までは出来上がってはいないが、内装もこれまでの公民館のイメージとは違うような、モダンなものになっているため、是非見てほしい。

続いて、石橋複合施設のオープンまでのスケジュールについて案内する。10月31日に竣工予定で、11月9日、10日に内覧会を実施する予定である。こちらについては内容が決定次第案内する。その後、11月中旬を目安に引越し作業を行う。今の公民館から、新しい複合施設へ引越しをしたり、新しい物品を納入したりという作業を行っていく。今のところ11月14日を予定しており、引越し終了後、今の公民館は引き払う形になるため、それ以降は使用ができなくなる。

現在の予定では、12月3日に複合施設のオープニングセレモニーを行う予定になっている。施設利用については、次の日の12月4日から行うことができる。なお、新しい公民館のインターネットでの使用予約は、10月1日から開始予定である。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

(熊田委員)

12月3日のオープニングセレモニー等で、教育委員が出席すべき行事はあるか。

(浅香生涯学習文化課長)

今のところ利用者を主体とした実行委員会で検討を進めており、詳細については決定していない。新型コロナウイルス感染症の拡大により起工式も非常に小規模の形で実施したが、それを踏襲する形で予算を見ていたため、同様に縮小した形で行う予定になっている。

(石崎教育長)

内覧会についてはいかがか。

(浅香生涯学習文化課長)

内覧会については、地元の方々や利用者等、できる限り多くの方に参加してほしいと思っている。新型コロナウイルスの感染状況も懸念されるが、例えば人数を区切る、時間を制限するなど、感染対策を講じながら、多くの方に見てもらうため、業者とよく調整をし、内容等が決定次第連絡する。

- (石崎教育長) これは一般向けの内覧会ということか。
(浅香生涯学習文化課長) 一般向けである。内覧会について、自治会長や石橋公民館の利用者等、様々な方に周知する予定である。
- (石崎教育長) 議員向けの内覧会等は別日に予定しているのか。
(浅香生涯学習文化課長) 議員向けの内覧会は別日に設けたいと考えている。
(石崎教育長) 他に質疑等はあるか。
(佐間田委員) 石橋複合施設には、公民館の他に児童館が併設されていると思うのだが、児童館は日曜日が休みだったように思う。児童館は公民館から1日遅れて、12月5日から利用開始となるのか。
- (浅香生涯学習文化課長) そのとおりである。オープニングセレモニーは一緒に行う予定ではあるが、児童館については、これまで同様、日曜日が休館日となるので、12月4日には利用ができない。複合施設になっても、現在の開館時間や休館日を引き継ぐことになるため、公民館と児童館の休館日はずれる形になる。
- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)
続いて(5)文化協会ハンドベルコンサートについて、説明を求める。
(浅香生涯学習文化課長) 文化協会が創立16周年記念事業として実施するものである。文化協会から白鷗大学ハンドベル部に、かねてから依頼はしていたのだが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でコンサートが実現できなかったという背景がある。そのため、今回15+1周年という形で、市役所のロビーを活用し、実施することになった。是非コンサートに足を運んでほしい。
- (石崎教育長) 定員についての表記がある。教育委員の皆様が足を運ぶ際には、事前に連絡をいれてもらったほうが良いか。
(浅香生涯学習文化課長) 定員とは別の枠を考えてはいるが、もし不安だということであれば、入場整理券を用意しているため、声を掛けてもらえば渡すことができる。
- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)
続いて(6)国分寺図書館くら寿司出張講座について、説明を求める。
(浅香生涯学習文化課長) 国分寺図書館が主催となって行う、くら寿司出張授業について案内する。
こちらは県内では初めて実施する事業になる。くら寿司が社会貢献事業として、夏休みの調べ学習支援講座をプログラムとして行っており、そこに国分寺図書館が応募したところ採択された。8月3日の10時半から国分寺公民館の大ホールで行われる。寿司の回転レーンなども作るため、図書館は会場として狭いということで、国分寺公民館のホールを使い、出張授業を行う。時間が合えば視察として足を運んでほしい。
- (石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)

(浅香生涯学習文化課長) 続いて(7)グリム夏休みイベントについて、説明を求める。
グリムの森で実施している、毎年恒例の夏休みのファミリーコンサートや、様々な体験教室の案内について配布した。是非目を通してほしい。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)

それでは、その他に事務局から連絡事項等はあるか。

(山口文化財課長) 本日チラシを4枚配布した。まず、7月16日から9月4日に開催する「下野市内の遺跡展I」の案内である。チラシ裏面に掲載した航空写真は、市内の自治医大駅から小金井駅にかけての1980年代の宅地開発前の写真で、80年代から90年代にかけて県埋蔵文化財センターが開発に伴い発掘調査を行った際に撮影された写真である。スクリーントーンで着色されている範囲は、埋蔵文化財包蔵地の範囲を示している。その中で名称が記されている箇所が遺跡として本調査が行われた地点である。今回の展示はこの中から旧石器～弥生時代の遺跡を中心に展示を行っている。講演会も8月6日に開催予定だが、応募者が多くキャンセル待ちの状態である。

続いて「しもつけ風土記の丘資料館体験コーナー」についてである。こちらも全てキャンセル待ちの状態である。勾玉作り、埴輪作りの他、チラシには掲載されていないが、8月1日にはかんぴょうの手鉋剥き体験を実施する予定である。今のところ、定員15名ほどで実施する予定にはなっているが、現在かんぴょうを手に入れることがなかなか難しい。本日、緑小学校でも体験活動を行ったのだが、かんぴょうの数を集めるのに苦労した。市内農家の方の協力をいただき、今日の体験活動は実施することができた。なお、先週も古山小学校、緑小学校、祇園小学校で、かんぴょう剥き体験を実施した。資料館で開催予定のかんぴょうの手鉋剥き体験についても、現在全てキャンセル待ちになっている。

続いて「薬師寺歴史館の歴史講座」についてである。前々回の教育委員会定例会において承認いただいた「マンガふるさとの偉人 下毛野古麻呂」の解説をする予定である。また、7月17日に「栃木県子ども観光大使」の体験活動を実施した。14名が参加し、中には今市小学校の6年生で、先月学校の校外学習で見学に来たが、今回体験ができるということで参加をした、という児童もいた。6月だけで1,110名以上の小学6年生が見学に来ている。

最後に、例年実施している「文化財絵画展」についてである。こちらは昨年度には220名、一昨年度には240名前後の応募があった。一般の方からの応募もあるが、基本的には小学校、中学校、義務教育学校の児童生徒を中心に、文化財をテーマに絵を

描いてもらっている。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

(石嶋委員)

「しもつけ風土記の丘資料館体験コーナー」に、男の子のイラストが掲載されているが、市外中学校のジャージを着ているように見える。せっかくならば、市内の中学校のジャージを組み合わせたようなものを着せた方が良いのではないか。すぐに変えてほしいという訳ではないが。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。(特になし)

それでは、他に事務局から連絡事項等はあるか。

(若林スポーツ振興課長)

教育長の挨拶にもあった、下野市B&G海洋センター10年連続「特A評価」表彰式、並びにB&G下野国分寺海洋クラブ舟艇器材配備式についてお知らせする。

本日舟艇配備式にて配備された、カヌーとサップの写真を配布した。サップとは、サーフボードを大きくしたようなものである。今回、これらのものをB&G財団から3年間無償で貸し出してもらうこととなった。これらの器材を使い、事業を行っていくのだが、その実施状況によっては3年後にそのまま無償提供されることとなる。

また「特A評価」表彰式についてである。B&G財団のほうに評価基準表があり、どういった事業を行うと何点、というように定められている。その中には「全国サミット」「教育長会議」といった会議も含まれており、教育長や市長にも出席いただいている。その他、例えば水辺の安全教室を各小中学に訪問し、実施しているが、このような事業にも細かく点数が定められている。

また、先ほど山口文化財課長から話があった「マンガふるさとの偉人 下毛野古麻呂」の発行にも点数がつけられている。それらの積み重ねで80点を超えると「特A評価」となり、それを10年間継続しているということで、今回表彰を受けた。

特A評価に係る特典もあり、昨年度のプール改修に対し、2,000万円の補助があった。今年度も上限3,000万円の補助を受けられることになっている。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

(熊田委員)

サップとはサーフボードの大きいものということによろしいか。

(若林スポーツ振興課長)

そのとおりである。サーフボードよりも大きなものになっており、その上に立って乗ったり、座って乗ったりするものである。カヌーだとどうしても乗り込むような形になるため、ひっくり返ってしまうと起き上がるのが難しい。そういった部分でサップは使用しやすいので、新しい事業等で活用してほしい。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。

(佐間田委員)

サップはサップヨガ等に使用するものかと思うが、市民が実

施する講座などに対して、カヌーやサップの貸出し等は考えていないのか。

(若林スポーツ振興課長)

貸出しは現在考えていない。市や夢くらぶ国分寺で体育活動を行っているため、それらの事業に参加してもらい、講師に教えてもらいながら使用するというを考えている。

(佐間田委員)

貸出しはこれからも行わないのか。

(若林スポーツ振興課長)

貸出しは行わない予定である。まずプールで使い方を覚えてもらい、カヌーは基礎的な動き等もプールにて教わってもらう。その後実際川に行き、体験活動をしてもらうというような流れである。

(佐間田委員)

私は性教育の講義を行う際、赤ちゃん人形を健康増進課から借りている。このように、市民活動として市民が市民のために使うのであれば、税金で買ったものだとすることで、利用申請を出せば貸し出してもらえる物品が市にはいくつかある。そういった扱いにはならないのか。

(若林スポーツ振興課長)

貸出しをしても、使用できる場所がない可能性がある。

(佐間田委員)

そういったサークルや教室を開きたいという人もいないかと考え、意見を述べた。カヌーやサップのような大きい器材は、なかなか数を揃えることが難しいかと思うので、貸出しができるかと思つた。

(若林スポーツ振興課長)

貸出しは考えていないが、是非市の事業に参加していただき、器材を使ってもらいたいと考えている。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。(特になし)

事務局から他に連絡事項等はあるか。

(上野教育総務課長)

今年度の下都賀地区市町教育委員会連合会全体研修会の案内を配布したので、確認をお願いする。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

事務局から他に連絡事項等はあるか。

(若林スポーツ振興課長)

本日書類を配布したが、9月4日の自治会対抗のキンボール大会及び市民体育大会は中止とした。また、7月30日に南河内テニスコートのオープン式を開催するので、出席してほしい。

(石嶋委員)

南河内テニスコートのオープン式について、駐車場は公民館の駐車場を使用すればよいか。

(若林スポーツ振興課長)

公民館の駐車場も、新しくできたテニスコート付近の駐車場も利用できる。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。(特になし)

事務局から他に連絡事項等はあるか。(特になし)

それでは、教育委員の皆様から連絡事項等はあるか。

(熊田委員)

1点お話しする。6月27日の国分寺小学校学校訪問の際、教職員との懇談会があったのだが、グループの先生方と話した時に、留守番電話があると良いという意見が挙がった。他の小中学

校でも、留守番電話についての話題は今までも挙がっていたが、働き方改革を進めていく中で、やはり放課後のある一定の時間からは、留守番電話対応になった方が良いと思う。他の市町では導入しているところもあると聞いたことがある。家庭用の留守番電話のように、まず留守電につながり、内容によって受けるべき電話ならば受けることができるような機能はないものか。そういった対応をするよう、下野市も進めていった方がいいのではないかと思っている。

(上野教育総務課長)

留守番電話については昨年度秋に、市教職員組合と市長、教育委員会事務局が揃い、意見交換を行った。その際、市長にも学校における電話対応の大変さが伝わり、留守番電話導入にどのくらい経費がかかるか調べるよう話があった。急ぎ、今年度の予算対応ができるか検討をするということで、見積りを徴取したところ、電話機本体の交換だけでは留守番電話の導入ができず、建物の電話設備自体をすべて取り換えなければならないということがわかった。金額として、1校あたり数百万円がかかるということが判明し、その旨を市長へ報告したところ、別の手段があるかどうか検討すること、及び今年度中の実施は難しいとの答えを受けた。しかし今後、例えば大規模修繕を行う際には電話設備の取換えについても実施していきたいと考えている。また、その他「留守番電話サービス」のような機能が使えるのであれば、なるべく経費がかからない形で実施していきたいということで、現在調査中である。なるべく早く答えが出せるようにしたいと考えている。

(石嶋委員)

県立高校は既に留守番電話を導入していると思うが、そちらもそれぞれ学校ごとに数百万円をかけたということか。

(上野教育総務課長)

おそらく、施設の大規模改修の際に導入したか、新しい学校であれば建物の設計段階で導入をしていたかのどちらかではないかと考える。

(石崎教育長)

補足説明する。留守番電話については以前から話題として挙がっていた。しかし、私が中学校長だった3年前には、市内4つの中学校長は留守番電話の導入に反対した。中学校は部活動の関係で、外で連絡をする必要があるので、保護者の方は顧問の携帯電話の番号を知っている。もしトラブルが発生した場合、保護者の方が学校に電話をしてくれれば、「何年何組で問題があった」「〇〇部で問題があった」というような内容が、他の教師にも伝わるのである。それが、もし学校に電話がつながらなくなると、保護者の方は顧問の先生の携帯電話に電話をすることになる。その際、電話を受けた先生が個人の携帯で対応することになり、問題の抱え込みや不祥事につながる可能性がある。そのため、留守番電話はつけず、夜でもちゃんと教職員と電話がつながるよ

うにしてほしいというのが4中学校長の考えであった。また、留守番電話を導入している市町は確かにあるが、導入している市町において、評価が必ずしも高いとは限らない。当市においても休日に行っているように、市に電話してつながらない場合は、警備会社に転送するという形をとっているようだが、本当に緊急の場合、あるいは保護者の方が学校に電話するか迷うようなギリギリの電話について「やはり明日が心配だから…」と思い立ったとしても、学校にはつながらず、警備会社へと回され「緊急の用事ではないから、電話するのはやっぱりやめよう」と考えてしまう方もいる。こういった形で、留守番電話を取り入れている市町でも、それが必ず高評価であるとは限らないということをつけ加える。

他に連絡事項等はあるか。

(佐間田委員)

中学生議会の書類を子どもが学校でもらったが、これは自由に聞きに行っても良いものなのか。教育委員の立場から、中学生がどういった意見を持っているのかを知りたい。

(石島学校教育課長)

これはおそらく議事課発出の書類になるため、こちらで確認し、後日お伝えする。

(佐間田委員)

中学生議会に出る子どもの保護者や学校の方々と、見に来たい方も多いただろうと思ったので、会場に入れるかどうか心配であり、質問した。

(近藤教育次長)

定員があるため、議場に入れられない場合もあるとは思いますが、その際はロビーで見てもらうこともできる。

(石崎教育長)

他に教育委員の皆様から連絡事項等はあるか。(特になし)

それでは、以上でよろしいか。(全委員承認)

次回の教育委員会は、8月18日(木)午後1時30分からの予定とする。

本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後5時10分閉会。

議事録作成者

議事録署名人

議事録署名人